

杜の都・仙台絆寄付金 復興事業への活用状況

東日本大震災からの復興のため、仙台市に心温まるご寄付をお寄せいただき誠にありがとうございます。平成27年度末をもって終了した杜の都・仙台絆寄付は多くの皆さまのご厚意によりまして総額約25億3千万円のご寄付を頂戴いたしました。

皆さまからのご寄付は、震災復興基金へ積み立てたうえで、本市の震災復興事業に活用させていただいております。震災復興に対する寄附は、平成28年度から開始した『仙台ふるさと応援寄附』で引き続き募集を行っています。今後とも応援よろしく願いいたします。

令和5年度までの主な事業実績については以下のとおりです。

令和6年度以降も引き続き復興事業の財源として活用していく予定です。

※金額は事業費（事業全体の額）ではなく寄付金の活用額です。



被災した子どもたちの希望ある未来への成長を応援するために

■ 学校施設災害復旧事業 634百万円（平成24・26・27年度）

（概要）震災により、大きな被害を受けた学校施設の復旧工事を行いました。

■ 学校給食安定供給事業 24百万円（平成24・26年度）

（概要）西多賀小学校など、被災した学校の給食用備品を購入するとともに、自校の調理施設が被災した学校に対して、臨時的に給食センターからの搬送を行いました。

■ 学校運営復旧支援事業 16百万円（平成24年度）

（概要）将監小学校などにおいて仮設校舎からの引越等に活用したほか、三条中学校へ図書を購入しました。

■ 学校給食用食品検査事業 10百万円（平成27・28・29・30・令和元年度）

（概要）学校給食に使用する予定の食品の中から、使用頻度の高いものを中心に放射性物質のサンプリング検査を行いました。

学校給食用食品検査事業

学校給食センターでの放射性物質検査の様子



放射性物質のサンプリング検査の結果は以下のホームページでも公開しています。

<https://www.city.sendai.jp/kyushokune/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyushoku/kyushoku/kekka.html>

学校施設災害復旧事業

27年度は、被災した蒲町小、南光台小の仮設校舎を撤去し校庭を整備しました。



復旧整備後の蒲町小学校の校庭

津波や地震で甚大な被害を受けた方の安全な暮らしを取り戻すために

■ 東部地域生活基盤整備事業 143百万円 (平成25・26年度)

(概要) 津波防災施設整備後も浸水が予測される区域から、コミュニティを維持しながら5戸以上まとまって市街化調整区域に移転する場合には、移転先に必要な道路、水道、下水道を整備するものです。

■ 被災宅地支援事業 116百万円 (平成24・25・27・28年度)

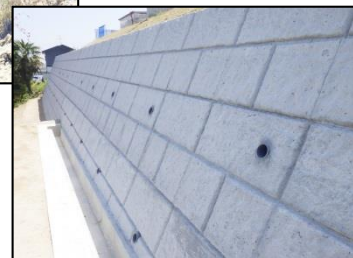
(概要) 宅地の滑動崩落等を防ぐとともに宅地擁壁等の復旧を行うことにより、宅地の安定化を図ったり、災害危険区域からの移転を促進するなどの事業を行いました。

被災宅地支援事業

平成28年度は東仙台一丁目の擁壁復旧を行いました。



工事着手前



工事完了後

被災した高齢者・障害者が安心できる生活を支えるために

■ 障害者福祉センター防災機能強化事業 6百万円 (平成25・26・27年度)

(概要) 福祉避難所である障害者福祉センターに自家発電設備を設置するものです。

■ 老人福祉センター防災機能強化事業 10百万円 (平成25・26・27年度)

(概要) 福祉避難所である老人福祉センターに備蓄倉庫や自家発電設備等を配備するものです。

■ 津波被災施設解体事業 40百万円 (平成27年度)

(概要) 震災で被災した『特別養護老人ホーム杜の里』の解体を実施しました。

障害者福祉センター防災機能強化事業

災害時に皆さまに安心して、ご利用していただくため、宮城野区、太白区、若林区に引き続き、泉区の障害者福祉センターに自家発電設備を設置いたしました。



泉区の障害者福祉センターの自家発電設備の様子。

老人福祉センター防災機能強化事業



小鶴老人福祉センターの備蓄倉庫。

平成27年度は小鶴、大野田の各老人福祉センターに備蓄倉庫を設置しました。LPGインバータ発電機、LED投光器などが整備されました。

被災した中小企業の活性化や雇用の確保を促進するために

■ 地域企業ビジネスマッチングセンター事業 19百万円（平成24年度）

（概要）被災した中小企業を支援するため「東北復興ビジネスマッチングセンター」を開設し、地域企業の優れた製品・サービスの販路拡大などの支援を行いました。

■ 東北復興創業スクエア事業 81百万円（平成24年度）

（概要）復興から生まれる新たな商品やビジネスを支援するため「創業スクエア」「とうほくあきんどでざいん塾」及び「起業家育成スクール」等を開設し、セミナー開催や支援情報の発信等を行いました。

■ ものづくり産業復旧復興支援事業 32百万円（平成24年度）

（概要）被災した市内のものづくり関連企業を支援するため、中小機構と共同で仮設事務所・工場を整備し貸与するなどの取組みを行いました。

東北復興創業スクエア事業



「珈琲まめ坊」

「創業スクエア」が、専門家等とチームを組んで支援を行った事例



とうほくあきんどでざいん塾ワークショップ

復興に向けた力となる文化・芸術や交流活動を広げるために

■ 観光客誘致宣伝事業 35百万円（平成24・27年度）

（概要）震災により大きく落ち込んだ観光関連産業の早期回復に向けて、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の開催や、「秋保・作並メディアプロモーション」を行いました。引き続き、秋保・作並地区活性化支援、轟々峡ライトアップ、旅行商品造成支援、就学旅行誘致キャンペーンなど、観光情報のタイムリーな発信を行いました。また、27年度には、宮城地区の整備事業として新川ラインの補修を行いました。

観光客誘致宣伝事業

閑散期特別プラン支援事業と連動して、仙台の奥座敷である「秋保温泉」と「作並温泉」をPRしました。



秋保・作並メディアプロモーション

キャンペーンを盛り上げるため、中心部商店街にフラッグ及び横断幕の掲出を行いました。



仙台・宮城デスティネーションキャンペーン

東北の復興のシンボルとなる再生プロジェクトを進めるために

■ 震災復興メモリアル・市民協働プロジェクト 11百万円（平成26・27年度）

（概要）「伝える学校」として、世代や地域をこえて震災の記憶と経験を市民一人ひとりが「伝える」手法を学び、実践していくためのプロジェクトです。平成27年度は『せんだい3.11メモリアル交流館』において発表会を行い、年間延べ1,000人以上の方の参加がありました。

■ 海岸公園再整備事業 48百万円（平成26・27・28・29年度）

（概要）被災した海岸公園の復旧に併せ、津波襲来時に公園利用者等の一時避難地としての機能を確保する「避難の丘」を整備しました。

■ 震災の記録・市民協働アーカイブ事業 16百万円（平成27年度）

（概要）市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録し、映像、写真、音声、テキストなどさまざまなメディアの活用を通じて、情報共有と復興推進に努めるとともに収録されたデータを保存していきます。震災から5年目の節目の平成27年度は関連イベントを多数開催しました。

震災復興メモリアル・市民協働プロジェクト



『せんだい3.11メモリアル交流館』における発表会の様子

荒浜で開催した「3.11オモイデツアー」ゼミの様子



震災の記録・市民協働アーカイブ事業



3月9日から12日に開催した「星空と路」資料室の様子です。参加者やスタッフが記録した東日本大震災に関する写真や映像、パネル等を展示しました。ホームページでも事業を紹介しています。<https://recorder311.smt.jp/>

海岸公園再整備事業

平成29年度は井土地区避難の丘周辺に津波避難情報標識の設置工事などを行いました。



海岸公園の整備の概要はこちらからも確認できます。

<https://www.city.sendai.jp/kaigankoensebi/kurashi/shizen/midori/koen/sebi/kaigan.html>

東北の持続的な発展に貢献する新次元の防災・環境都市づくりをめざすために

■ 道路災害復旧事業 175百万円（平成24・26・27・28・29年度）

（概要） 仙台泉線など、被災した道路施設の復旧及び修繕を行いました。引き続き、道路の復旧事業を進めます。

■ 公園緑地等復旧・整備事業 32百万円（平成24・26年度）

（概要） 匂当台公園、中野中央公園など、被災した公園施設の復旧及び修繕を行いました。

■ ため池等復旧事業 18百万円（平成24・26・27年度）

（概要） 震災により被害を受けたため池と周辺整備を行い、住民の安全を確保します。

平成27年度は秋保新堤ため池の斜樋破損箇所の復旧と、松山下ため池等の被災状況の詳細調査を実施しました。

■ 災害対策強化等事業 161百万円（平成23・24年度）

（概要） 市内の全指定避難所における資機材の拡充整備や、防災意識の普及啓発事業を実施しました。

■ 学校保健室空調設備整備事業 30百万円（平成24年度）

（概要） 大倉小学校など、被災した学校の保健室に空調設備を設置しました。

■ 復興の原動力となる市民力育成事業 16百万円（平成24年度）

（概要） 震災復興をテーマとした市民による学びや意見交換の取組みを支援しました。

道路災害復旧事業

平成29年度は市道松苗畑四ツ谷線等の道路災害復旧工事を実施しました。



工事着手前



工事完了後

平成28年4月から新たに『仙台ふるさと応援寄附』として寄附を受け付けています。
仙台ふるさと応援寄附については、こちらから確認できます。どうぞよろしくお願いいたします。

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>